

あさぎり地域づくり協同組合

所在地：あさぎり町上北1972-1

創業（設立）：2023年

組合員：22名／派遣職員：5名

事業概要：特定地域づくり事業協同組合

地域人口の急減に直面している地域において、農林水産業、商工業等の地域産業の担い手を確保するための特定地域づくり事業協同組合制度を活用して、町内の事業者が主体となり「あさぎり地域づくり協同組合」を設立。農業を主体として、繁忙期に人材派遣を行い、年間を通して安定した仕事を創出。

取組み前の課題

1. 県内定着
2. 人材育成
3. 生産性向上
4. 働きやすい職場環境
5. その他

繁忙期の人手不足（年間通しての雇用は維持できない）

- ・ 農業の繁忙期において人手不足が生じる。
 - ・ 一方で、閑散期には雇用を維持する程の仕事がない。
- ⇒ 安定的な雇用環境、一定の給与水準が確保できない。

取組み後の成果（効果）

繁忙期の人手不足の解消、年間を通じた雇用の確保

- ・ 繁忙期に派遣職員を受け入れ、人手不足を解消。
 - ・ 複数の農業者の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を確保。
- ⇒ R5年3月に組合設立し、派遣職員3名の新規雇用。
R6年4月には、新たに2名を新規雇用。

取組み内容・事業・導入したこと

○特定地域づくり事業協同組合の設立

- ・ 町内の事業者で「特定地域づくり事業協同組合」を設立。
- ・ 組合員は令和6年4月時点で22名。

○労働者派遣により働き手を確保

- ・ 組合において派遣職員を雇用し、各組合員（農家等）のそれぞれの繁忙期に向けて職員を派遣。
（派遣先）葉タバコ、薬用作物、野菜など

○複数の仕事を組み合わせ通年の仕事を創出

- ・ 繁忙期の異なる複数の組合員の仕事を組み合わせることで、年間を通じた仕事を確保。
- ・ 人手不足の解消を図るとともに、職員の資格やスキルの向上などの人材育成、就農希望者へのキャリアアップをめざす。